看土佐 Wave 来这里
http://tosawave.blogspot.jp/

Tosa Wave

An information Magazine for the International Community in Kochi

中国語生活情報冊子「土佐 Wave（中国語版）」2017年３月号（Vol.20）発行：(公財)高知県国際交流協会

"朝圣 著名建筑物 in 高知"

「有名建築物 in 高知 巡礼」

您知道在高知县内有许多世界级建筑大师亲自设计的建筑物吗？在高冈郡梼原町内，有2020年东京奥运会主会场国立竞技场的设计者——隈研吾先生设计的建筑物。另外，高知车站建筑与牧野富太郎纪念馆是国内知名的擅长车站・美术馆设计的建筑家内藤广先生的作品。此次，KIA工作人员与国际交流员（CIR）一起去朝圣了这些著名建筑物！

高知県には世界的に注目を集める建築家が設計を手掛けた建築物があるのをご存知ですか。高岡郡梼原町には、2020年に開催される東京オリンピックの国立競技場のデザインを設計した隈研吾氏による建築物が存在します。また、高知駅や牧野富太郎記念館は、国内の有名な駅や美術館などを設計した建築家の内藤廣氏による建物です。今回、KIAスタッフと国際交流員（CIR）は、これらの建築物巡りに行ってきました！

与自然共生的建筑物 / 建筑家：隈研吾先生

以“云之上的小镇”闻名的梼原町内，有4处世界著名建筑大师・隈研吾先生亲自设计的建筑物（截止于现在日期2017年3月）。建筑物以大量使用梼原产木材为特征，并且与周围的自然环境完美协调。

隈研吾先生着手设计梼原町建筑物的契机，据说是高知县内唯一的木结构小剧场“梼原座”。当时，隈研吾有感于梼原町为了保存这一建筑而采取的各种活动，惊喜地看到了木结构建筑的有趣之处。此后他受梼原町委托，以“云之上酒店”为首，先后设计了“梼原町综合官厅”、“街道驿站‘梼原’”、“梼原 木桥美术馆”等建筑。另外，梼原町立图书馆与福利设施正在建设之中。

自然と共存する建築物／建築家：隈 研吾氏

「雲の上の町」として知られる梼原町には、世界的に著名な建築家の隈研吾氏が手掛けた建物が４つあります（2017年３月現在）。梼原産の木材をふんだんに使用した構造が特徴的であり、周りの豊かな自然と上手く調和しています。

隈研吾氏が梼原町で設計にたずさわるきっかけとなった場所は、高知県唯一の木造芝居小屋である「ゆすはら座」でした。当時、ゆすはら座の保存に取り組む活動に共感し、木の建築の面白さに目覚めたといいます。梼原町から依頼を受け、「雲の上のホテル」にはじまり、「梼原町総合庁舎」、「まちの駅『ゆすはら』」、「梼原　木橋ミュージアム」の建築を手掛けました。新たに、梼原町の図書館と福祉施設が建設中です。

云之上酒店
(地址 :太郎川3799-3)

四角圆润的屋顶以飞机的机翼为象征，并以玻璃、木、水相互融合为概念进行设计。餐厅的内部装饰也大量使用木材，创造出了一个可以感受到树木温暖的舒适空间。酒店内有来自加拿大的工作人员，可以使用日语、英语进行对应。

雲の上のホテル（所在地：太郎川3799-3）

丸みを帯びた屋根は飛行機の翼をイメージし、ガラス、木、水の融合をコンセプトにしたデザイン。レストラン内装も木材を利用しており、木のぬくもりを感じる居心地のよい空間が作り出されている。カナダ人スタッフがおり、日本語・英語での対応可。

梼原　木桥美术馆

这是一条艺术长廊用于连接酒店旁边的温泉设施。建筑物融合于梼原森林之中的独特设计很有存在感。充分利用当地木材的建筑结构受到很高评价并获得奖项。我们前去访问的当天刚好看到了建筑物沐浴在从背后射来的日光之中，格外美丽。

建筑物内部漂浮着木材的香气。

梼原　木橋ミュージアム

ホテル隣接の温泉をつなぐギャラリー。梼原の森の中に溶け込む特徴的なデザインは存在感がある。地域材を生かした構造が評価され、賞も受賞。ちょうど訪れた日は、背後から日光に照らされた外観がとても美しかった。

建物内は木のかおりが漂う

街道驿站“梼原”
（地址 ：梼原1196-1）

这是一处综合设施，既可以提供住宿，同时销售当地特产。设施外部使用茅草覆盖，内部矗立着几根杉树圆木。置身其中的感觉不可思议，宛如进入森林一般。从窗户照射进来的光芒给人一种阳光投射于森林树叶间隙的感觉。

まちの駅「ゆすはら」
（所在地：梼原1196-1）

宿泊と地元特産品を販売する店などを兼ね備えた施設。施設外壁は茅が用いられている。内部は杉丸太の柱が並び、あたかも森の中にいるような不思議な感覚になる。窓から差す光が木漏れ日のように感じられた。

梼原町综合官厅
（地址 ：梼原1444-1）

即使说这里是日本第一独具匠心的町公所也毫不夸张吧。建筑物使用梼原町产的杉树木材，内部被树木的温暖所包围。不仅具有灵活利用自然资源、机能性优越等特点，前面的大门开放后可以作为宽阔的活动区域使用也是其别出心裁的体现。

梼原町総合庁舎（所在地：梼原1444-1）

日本で一番デザインが凝った町役場と言っても大袈裟ではないだろう。梼原産の杉材をふんだんに使用し、建物内は木の温もりに包まれている。自然エネルギーを活用する機能性に優れているほか、前面の大扉を開放すると広いイベントスペースになる工夫も凝らされている。

○广受国内外关注的小镇

梼原町通过采取举措，灵活利用太阳光、风力、地热、水力等自然资源，推进环保型城镇建设，作为环境示范都市广受国内外瞩目。梼原町以其美丽的自然环境及历史吸引着各地游客，来自海外的游客也不断增加。你也来看看吧。

○国内外から注目を集める町

太陽光、風力、地熱、水力といった自然エネルギーを生かした取り組みによって環境にやさしいまちづくりを進めている梼原は、環境モデル都市としても国内外から注目を集めています。大自然や歴史も楽しめる梼原町には海外から足を運ぶ観光客も増えています。一度訪れてみませんか。

牧野富太郎纪念馆 / 建筑家：内藤广先生

○由内藤广先生来担任设计者的原委

这座纪念馆是为了彰显出生于高知县的日本植物分类学之父——牧野富太郎博士的功绩，而在高知市五台山牧野植物园内建设的，分为本馆与展示馆。

为我们进行讲解的是牧野植物园的工作人员，当时负责纪念馆内部展示设计的里见先生。里见先生过去曾与建筑家内藤先生一起工作过，所以他向园长推荐“能够完美呈现纪念馆基本构想的建筑家非内藤先生莫属”，之后高知县当机立断将其付诸实施。

牧野富太郎記念館／建築家：内藤 廣氏

○内藤氏による設計の経緯

この記念館は、本県出身で日本の植物分類学の父、牧野富太郎博士を顕彰し高知市五台山の牧野植物園の敷地内に建設されたもので、本館と展示館から成ります。

スタッフにお話くださったのは牧野植物園の職員で当時記念館の展示デザインを手掛けた里見さん。里見さんが過去に建築家の内藤氏と仕事をした繋がりがあり、記念館の基本構想にマッチする建築家は『内藤さんしかいない』と当時の園長に紹介し、その後県の決断で実現しました。

○为契合五台山的自然环境而潜精研思

中庭绵长的屋檐能够在夏季制造出阴凉，让游客避免酷暑，雨天时避免游客被雨淋湿，在檐下近距离欣赏植物。在具有开放感的屋檐下漫步，不禁心旷神怡！

踏入纪念馆之后，漂浮于高耸的天花板间的木头香气扑鼻而来。虽然建好之后已经过了20年，但这种醇香韵味仍然历久弥新。因为建筑结构设计坚实稳固，所以才能保持如此长久的耐用性吧。内藤先生尤其擅长使用木材进行设计，为了让此建筑融合于五台山的美丽景观之中，大量使用县产的杉树、扁柏作为纪念馆的地面、天花板及墙壁板材。另外展示馆的一部分墙壁使用了土佐灰浆涂抹完成，呈现出的略带温暖的微妙色调，也

在蜿蜒曲折的好似日语假名“コ（高知日语的首字母）”形状的屋檐下

「コ」の字にゆるやかに伸びる軒先にて

○五台山の風土にあった工夫を

中庭の長い軒先は、夏には日陰をつくり猛暑を避け、また雨天時は人々が雨に濡れることなく直に植物とふれあえる役割を果たします。開放感があるので軒下を歩くのはとても気持ちいい！

記念館に足を踏み入れると高い天井にふわっと漂う木の香り。建って約20年が経つ今もなおです。健全な構造で設計されたからこそ耐久性があるのだそう。内藤氏は木材を使った設計が得意で、五台山の美しい景観に溶け込むように、県内産の杉と桧が床や天井、壁にふんだんに使わ

是与专业手工匠人紧密合作的结果。

○亲自感受博士的研究之路…

内藤先生在进行这项设计时，每当看到博士亲自执笔画出的植物图时都会感到一种紧张的使命感。博士用毛笔在和纸上细致地勾勒出各种植物图鉴，单是保存在此纪念馆中的就有近2千幅。牧野博士将植物学精彩呈现给世界，不亚于其他领域。内藤先生认为他必须要设计出一个与牧野博士功绩相符的建筑物才能不辱使命。在这样的想法基础上，多次协商最终集大成的即是此纪念馆。不仅外观与内部装饰美轮美奂，同时也展现出内藤先生与植物园工作人员对博士的敬意与热爱。

展示馆的情景
我们惊讶于天花板的房梁与接合处的金属件的长度・形状各不相同！

展示館の様子。
天井の梁や連結部の金具の長さ・形はすべて違うのは驚き！

○高知县立牧野植物园

地址：高知市五台山4200-6
开园时间：9:00～17:00（年末年初休馆）
门票：普通720日元（高中生以下免费）

れています。また展示館の一部の壁は土佐漆喰で仕上げられ、あたたかみのある微妙な色味も、職人との密接なコラボレーションで決めました。

○博士の研究の道のりを目の当たりにして…

内藤氏がこの設計をするにあたり、身の引き締まる思いに駆られたのが、博士直筆の植物図を目の当たりにしたときだそうです。それは和紙に筆で緻密に描かれたもので、同館に所蔵されているだけで２千枚近くに上ります。植物学を世界に引けの取らないものにした一人である博士の記念館としてふさわしい建物を設計したいという思いのもと、協議を重ねた集大成がこの記念館です。外観や内装が美しいだけではなく、内藤氏や植物園職員の博士に対する敬意と愛が詰まった作品ですね。

牧野博士亲自执笔绘画的植物图
牧野博士直筆の植物図

○高知県立牧野植物園

所在地：高知市五台山4200-6
開園時間：9:00～17:00（年末年始休園）
入園料：一般720円（高校生以下無料）

高知车站 / 建筑家 ：内藤广先生

乍一看感觉没什么特别的JR高知车站，竟然是那位有名的建筑师－内藤广先生设计的作品？！我颇为震惊。乘坐路面电车在高知站前下车后，首先映入眼帘的是车站南侧。这一侧是将钢铁骨架弯曲成像日语假名“く”一样的形状组装而成的。因为看起来就像鲸鱼的骨架一样，所以这个车站还有一个“鲸鱼拱顶”的昵称。

提到高知，我头脑中立刻浮现出的词汇是“豪爽”。因为高知的男女分别被称为“豪气男”与“女强人”，用稻草炙烤鲣鱼也是高知独创的吃法，另外将车站内部完全开放呈现出来，这种设计在日本也比较少见吧。

穿过高架，来到车站的北侧，我以为这一面的结构与南侧完全相同，但是这一侧实际上是由木结构的拱形大屋顶将车站覆盖，转变为完全封闭的感觉。另外，大屋顶不仅覆盖了车站月台，还延伸飞跃至站前广场，这样的木结构拱形真的是日本森林覆盖率第一的高知县最有利的象征，同时对于夏季多雨的高知来说也是非常合适与实用的设计。

高知駅(南口)

高知駅(北口)

高知駅／建築家：内藤 廣氏

一見何気ないように見えるJR高知駅なんですが、なんとあの有名な建築家の内藤廣氏が手掛けた作品なんて驚きました。路面電車に乗って、高知駅前で降りたら真っ先にお目にかかるのは駅舎の南側です。「く」の字に曲げられた鉄骨によって組み上げられています。まるでクジラの骨に見えることから「くじらドーム」というあだ名も持っていますよ。

高知というと、やっぱり「豪快」という言葉がすぐ浮かびます。高知の男女がそれぞれ「いごっそう」や「はちきん」と呼ばれ、藁で焼いた「カツオのたたき」も高知ならではの食べ方で、駅舎も内部が外に開けていることは日本でも珍しいでしょう。

高架下を潜って、北側に来て、先ほどの構造が同じく反対にもあると思いきや、実は木造アーチの大屋根で全体が覆われ、完全に閉じた感じに変わります。さらに、大屋根は駅ホームだけではく、駅前の広場まで飛び出して、まさに日本一の森林県である高知を象徴する素晴らしい木のドームで、また夏季に雨天の多い高知にもぴったりの設計だなと思います。

说到赏花，日本人一般联想到“樱花”。这个春天，让我们一起享受日本文化之“赏樱”的乐趣吧。

高知的生活Q＆A“享受赏樱的乐趣吧”
高知の生活Q＆A「お花見を楽しもう」

お花見というと日本人は「桜」を連想します。今春、日本の文化「お花見」を楽しみましょう。

Q 赏樱是从什么时候开始的？

A 据说赏樱起源于奈良时代(710-794 A.D.)，当时的贵族们仿照中国达官贵人兴起赏梅的风潮。到了平安时代(794-1185 A.D)，比起赏梅，人们更热衷于赏樱。有很多咏颂樱花的和歌流传下来。经年累月，这一习俗逐渐从贵族扩展至武士及普通民众。

Q お花見っていつ頃始まったの？

A お花見の起源は、奈良時代 (710-794 A.D.) に貴族たちが中国から伝わった梅の花を鑑賞したことが始まりと伝えられています。平安時代 (794-1185 A.D) には梅よりも桜が楽しまれるようになり、桜の花について詠んだ歌が数多く残っているよ。時代を経て、武士や庶民にも広がっていったようです。

Q 赏樱要做些什么呢？

A 不只是欣赏樱花，还有很多人在樱花树下铺上野餐垫，与家人朋友一起举办宴会。市面上也有销售专门用于赏樱的五颜六色的便当。

Q 何时开花？

A 1月下旬，从南部的冲绳开始至北边的北海道，前后大约持续5个月樱花前线纵贯日本列岛。高知县大概是3月下旬至4月上旬迎来观赏樱花的最佳时节。气象厅会发布开花的预测日期。

Q お花見ではどんなことをするの？

A 桜の花を観賞するだけでなく、桜の木の下にレジャーシートを敷いて、宴を楽しむ人も多いね。お花見用に作られた色とりどりのお弁当も売り出されているよ。

Q 開花はいつ？

A １月下旬、南の沖縄から始まり、北の北海道まで、約５ヶ月にわたり桜前線が日本列島を縦断します。高知県では大体３月下旬から４月上旬に見頃を迎えるよ。開花予想は気象庁が発表しています。

Q 请告诉我们高知赏樱的人气场所！
高知でお花見が楽しめるお薦めの場所を教えて！

KIA工作人员与CIR为大家推荐如下地点。从高知市内前往交通便捷，请大家有时间一定要前去观赏。

KIAスタッフとCIRのお薦めの場所です。高知市内からのアクセスが良いので、ぜひ行ってみてください。

➢高知城 （高知市）

作为高知市的赏樱名胜绝对不能错过的地方。以高知城为背景，拍一张樱花树的照片如何？

➢高知城 （高知市）

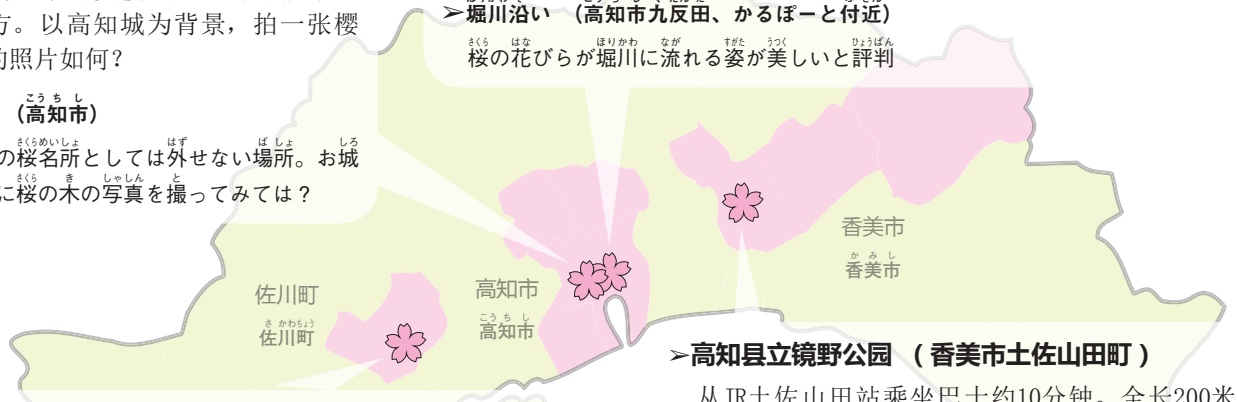
高知市の桜名所としては外せない場所。お城を背景に桜の木の写真を撮ってみては？

➢堀川沿岸 （高知市九反田，Cul-port 附近）

因樱花花瓣落入堀川的美景而广受好评

➢堀川沿い （高知市九反田、かるぽーと付近）

桜の花びらが堀川に流れる姿が美しいと評判



➢牧野公園 （高冈郡佐川町）

从JR佐川站徒步约10分钟。公园内以染井吉野樱为代表，可以看到不同种类的绚丽樱花。

➢牧野公園 （高岡郡佐川町）

JR佐川駅から徒歩約10分。公園内では代表的なソメイヨシノをはじめ、さまざまな種類の桜が見れるよ。

➢高知县立镜野公园 （香美市土佐山田町）

从JR土佐山田站乘坐巴士约10分钟。全长200米的樱花隧道是最受欢迎的地点。夜晚将点亮纸罩蜡灯，也可享受夜樱的美好。

➢高知県立鏡野公園 （香美市土佐山田町）

JR土佐山田駅からバスで約10分。全長200メートルの桜トンネルは人気スポット。ぼんぼりが灯され、夜桜も楽しめるよ。

发行：公益财团法人高知县国际交流协会（KIA）
电话：088-875-0022 FAX：088-875-4929 Email：info_kia@kochi-kia.or.jp
投稿：CIR・KIA 职员
中文翻译・校正：張 慧杰（县厅CIR）
Tosa Wave 博客：http://tosawave.blogspot.jp/ （在博客可以看彩色照片）

発行：公益財団法人高知県国際交流協会(KIA)
電話：088-875-0022 FAX：088-875-4929 Email：info_kia@kochi-kia.or.jp
投稿：CIR・KIA スタッフ
中文翻訳・校正：張 慧杰(県庁 CIR)
TosaWave ブログ：http://tosawave.blogspot.com/(カラー写真をご覧いただけます)